

20世紀の音楽 第一回

序章

20世紀は「大衆産業消費社会と戦争の時代」と言われます。特に19世紀末から20世紀の初めにかけては科学技術の急速な変革により、未曾有の産業社会が生まれ始めていました。その後更に二度の世界大戦を経験

したので、社会生活だけではなく価値観、芸術感、政治思想など多くの点で変革の嵐が起こっていったのです。このような状況下ですから、西洋音楽シーンにおいても大きな影響を受けないはずはなかったと考えられます。(反面その点に関して20世紀から21世紀の変化をあまり感じなかったように感じますが。)

過去の伝統的な音楽形式にとらわれず自由な発想の、実験的で、前衛的な作品、所謂「現代音楽」と称するジャンルも数多く出現してきました。

この20世紀音楽シリーズは、この世紀に作曲された作品に焦点をあてて、虚心坦懐な気持ちで、音楽を分け隔てなく、まず聴いて頂く機会にしていきたいと考えております。皆様に新しい発見を生み出す切っ掛けになることを目的としています。

第1回は20世紀音楽の全体的な流れを分類して、その分類毎に選曲してご紹介致します。次回からは作曲家の年代順に進行する事を基本にその作品を採り上げていきます。

次は「ショスタコーヴィッチ」を予定します。



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)
分科会へのご案内 (会員による自主講座)

日時 / 2017年1月15日(日) 13:30~15:45

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 山本 一成 全10回予定

参加自由・入場無料

問合わせ / 090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>